



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

- 製品固定位置には、必ず12mm厚以上の構造用合板などの下地材を入れてください。カウンター脱落の原因になります。
- 接着剤は、床張付け用のウレタン系接着剤(現場手配)を使用してください。カウンター脱落の原因になります。(推奨接着剤：コニシ(株)ボンドKU928C-X)
- 本製品は接着剤固定となります。接着剤硬化まで24時間養生を行ってください。カウンター脱落の原因になります。
- 施工時は必ず2人作業で設置をしてください。落下によりケガをするおそれがあります。
- タイルやエコカラットなどの厚みがあって割れやすい壁仕上げ材には施工できません。取付強度不足による落下、破損のおそれがあります。

■取付け上のお願

- 本製品は、屋内用です。屋外には取付けないでください。
- 取付け前の保管の際は、ソリ・フクレ・割れ防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・直射日光に当てないでください。
 - ・湿度の高い場所には保管しないでください。
 - ・雨や水にぬれる場所には保管しないでください。
 - ・直接地面に置かないでください。
 - ・立て掛けて置かないでください。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。
- コンクリートやモルタル(床面)に直接取付けないでください。
- カウンターは、壁面の栈木に差込む取付け方法のため、カウンターの奥行寸法の2倍を確保できる十分なスペースにて取付けを行ってください。
- カウンターの奥行方向は切断できません。
- 脚の切断には寸法制限があります。また、奥行方向は切断できません。
- 取付けねじは、同梱のねじを使用してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- 取付け後は、支柱等で支え、カウンターの水平を保持してください。
- 取付け後は、段ボール等で表面保護をし、製品に直接ものを置かないでください。
- 取付け後の養生時にテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直張りしないでください。テープをはがす際、表面シートを痛めたり、テープの粘着剤が表面シートに付着したまま残ることがあります。

■部品・部材の明細

カウンター本体セット(L=1800)		カウンター本体セット(L=3600)	
●カウンター×1	●栈木×1	●カウンター×1	●栈木×2
●ねじセット×1 (皿木ねじφ4.5×75……10本)		●ねじセット×1 (皿木ねじφ4.5×75……10本)	

端部受棧(D220用, D300用)	端部受棧(D500用)	オープン用脚セット(D300用, D500用)		
●端部受棧×1	●端部受棧×1	●脚×1	●栈木×3	●端部キャップ×1
●ねじセット×1 (なべタッピンねじφ4×70……2本)	●ねじセット×1 (なべタッピンねじφ4×70……4本)			●ねじセット×1 (皿木ねじφ4.5×75……3本)
●ねじセット×1 (トラスタッピンねじφ5×50……2本)	●ねじセット×1 (トラスタッピンねじφ5×50……2本)			(皿木ねじφ3.8×45……6本)
				(木ダボ……1本)

ベンチユニット

●カウンター×1

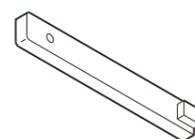
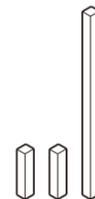
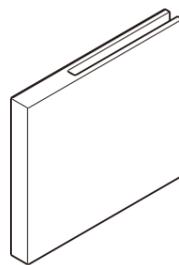
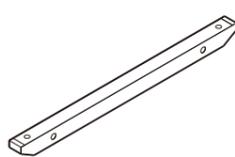
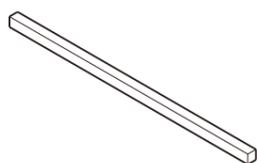
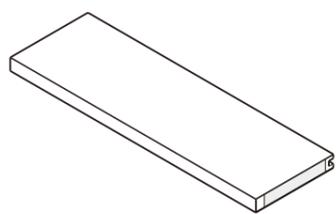
●棧木×1

●端部受棧×1

●脚×1

●棧木×3

●端部キャップ×1



●ねじセット×1
(皿木ねじφ4.5×75……10本)

●ねじセット×1
(なべタッピンねじφ4×70……2本)
●ねじセット×1
(トラスタッピンねじφ5×50……2本)

●ねじセット×1
(皿木ねじφ4.5×75……3本)
(皿木ねじφ3.8×45……6本)
(木ダボ……1本)

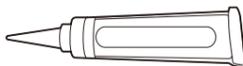
(オプション品)配線穴キャップ

(現場手配)接着剤

●キャップ×2



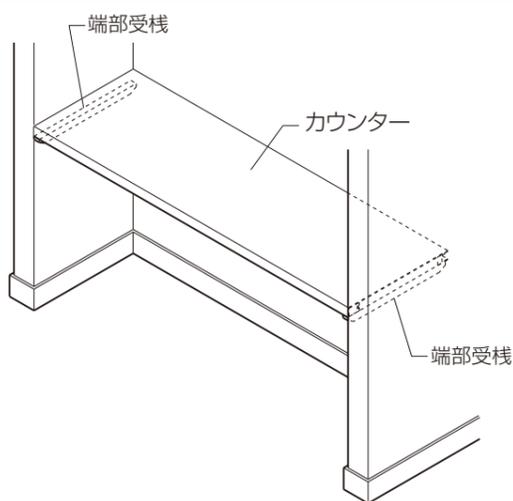
床張付け用
ウレタン系接着剤



推奨: コニシ(株) ボンドKU928C-X

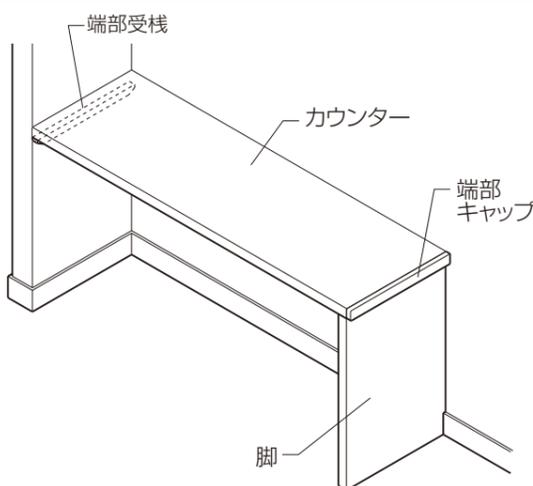
■取付けプラン

受棧納まり



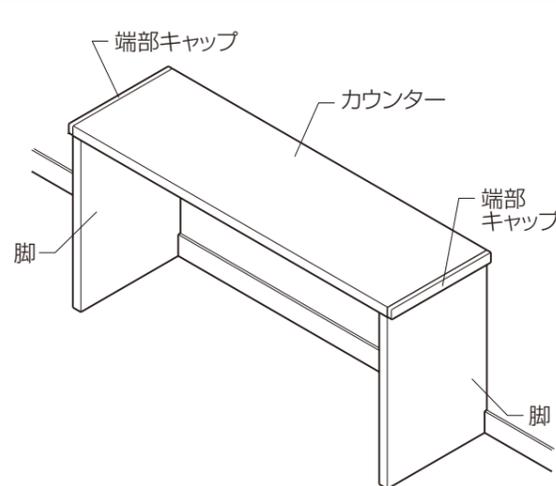
取付け順序 P.4~P.5

片側オープン/ベンチ納まり



取付け順序 P.6~P.9

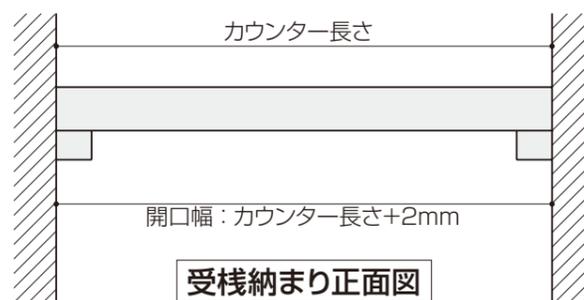
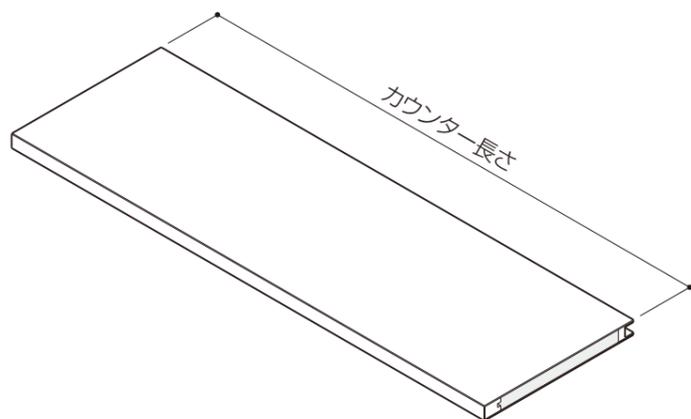
両側オープン納まり



■取付け準備

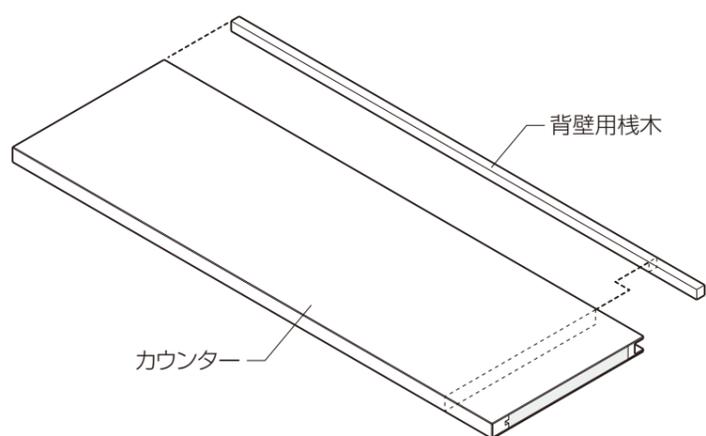
①カウンターの長さを決めてください。

受棧納まりの場合は、カウンター長さから開口寸法も決めてください。



受棧納まり正面図

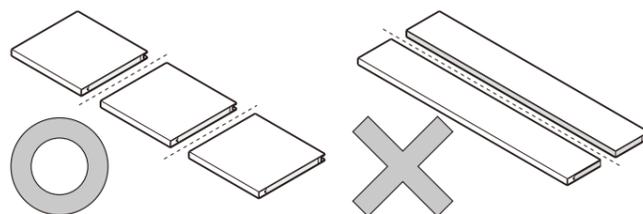
②カウンターと背壁用棧木の長さ方向を切断してください。



プラン	脚厚み	棧木切断寸法
受棧納まり	—	(カウンター長さ)-(5mm)
片側オープン納まり	40	(カウンター長さ)-(脚厚み)
ベンチ納まり	70	
両側オープン納まり	40	(カウンター長さ)-(脚厚み×2)
	70	

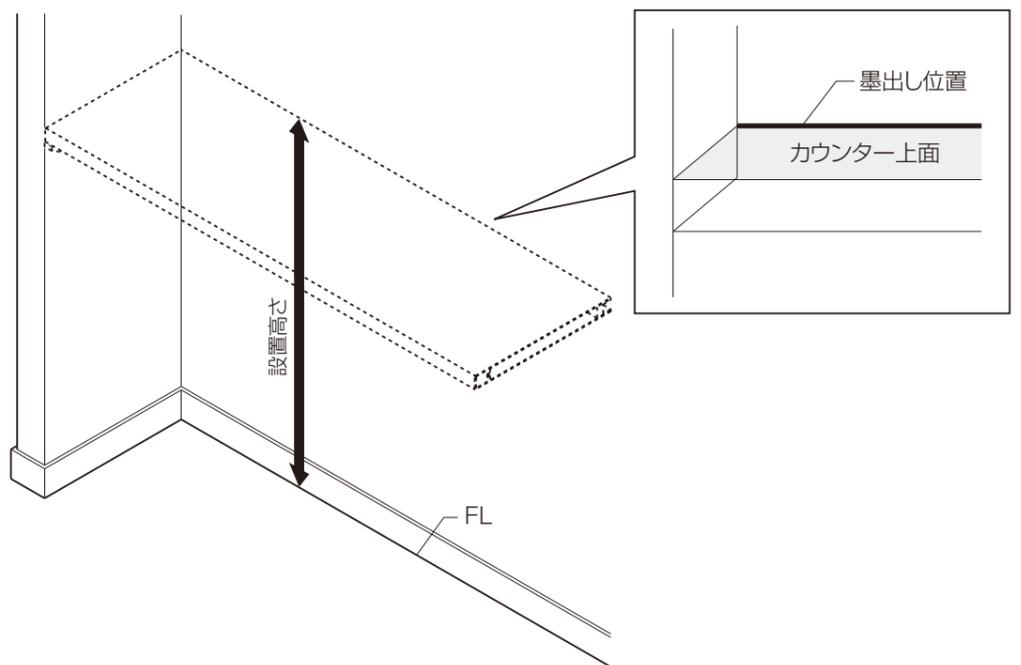
お願い

奥行方向は切断できません。



③ カウンターの設置高さを決めてください。

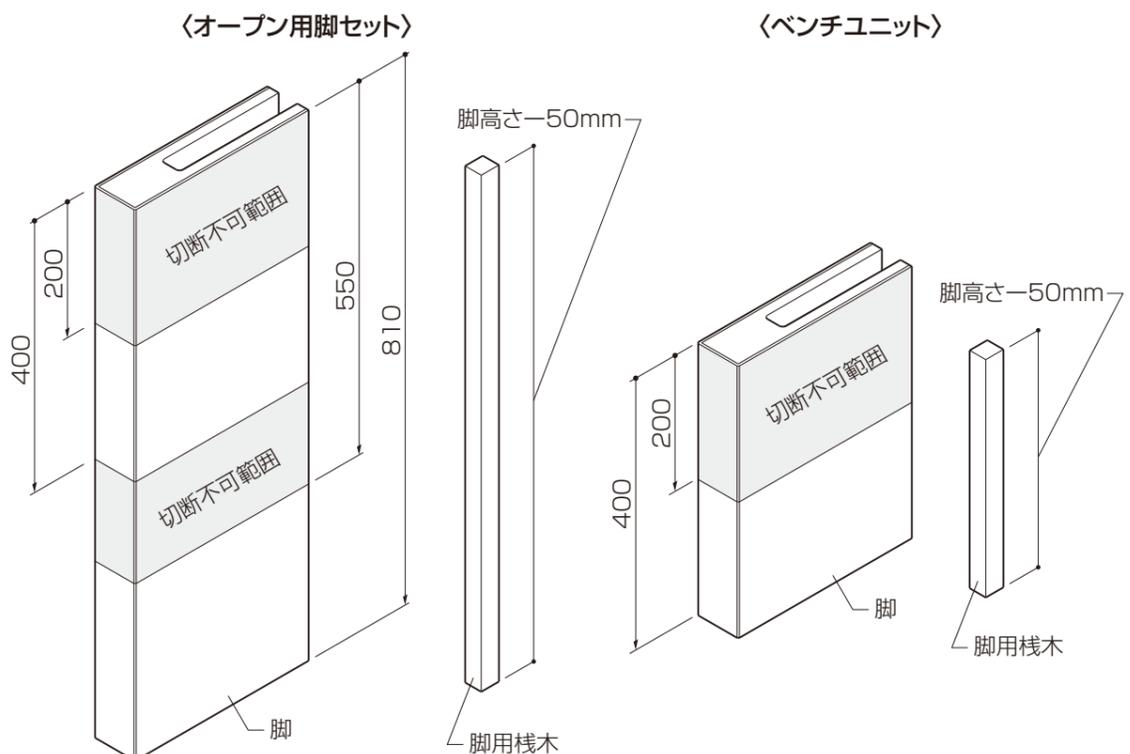
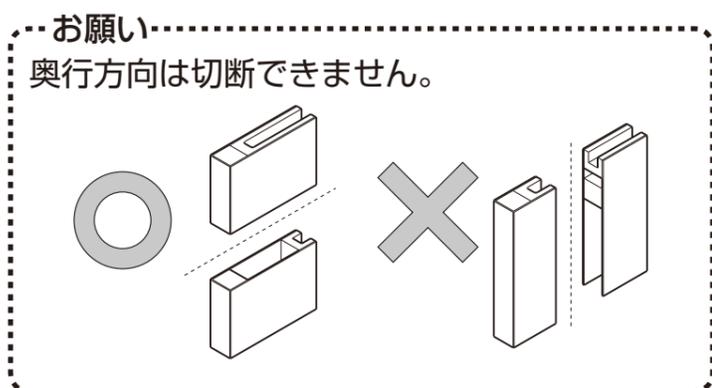
- カウンターの設置高さを決め、カウンター上面の取付け位置を墨出しします。
 - 脚納まりの場合は、カウンターの設置高さに制限があります。
【可能な設置高さ】
 - ・ 40mm厚みの場合：240～440mm、590～850mm
 - ・ 70mm厚みの場合：270～470mm、620～880mm
- ※ 受棧納まりの場合は、設置高さに制限はありません。



※以下は、脚納まりの場合のみ実施してください。

④ カウンターの設置高さに合わせて脚と脚用棧木の高さ方向を切断してください。

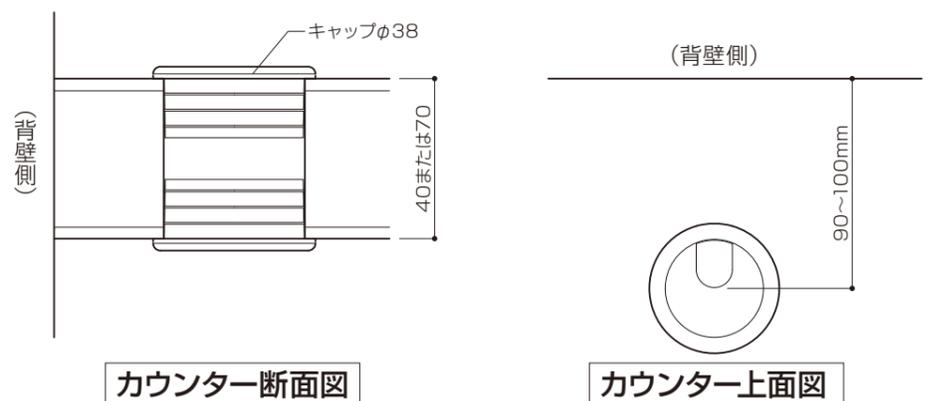
- 切断寸法範囲：右図参照
- 脚上部から採寸をして切断してください。
- ※ 切断不可範囲を切断しても脚の取付けはできません。



※以下は、配線用の穴が必要な場合のみ実施してください。

⑤ 配線用の穴が必要な場合は、配線キャップ取付けの加工をしてください。

- 現場で、φ39の貫通穴を開け、表裏にキャップをはめ込んでください。
- ※ カウンター取付け前に実施してください。



以上の準備が整いましたら、製品の取付けに進んでください。

1 棧木の取付け

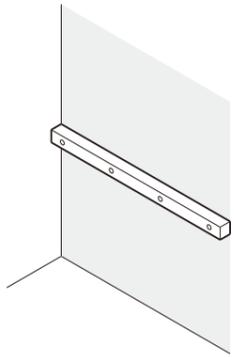
2 端部受棧の取付け

3 カウンターの取付け

4 端部受棧の固定

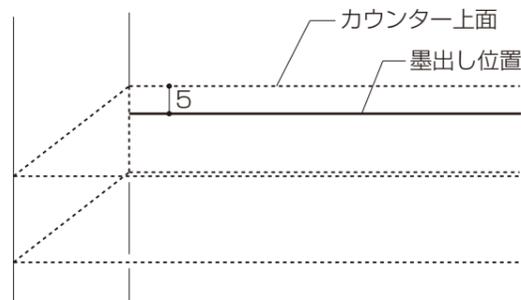
5 完成

1 棧木の取付け

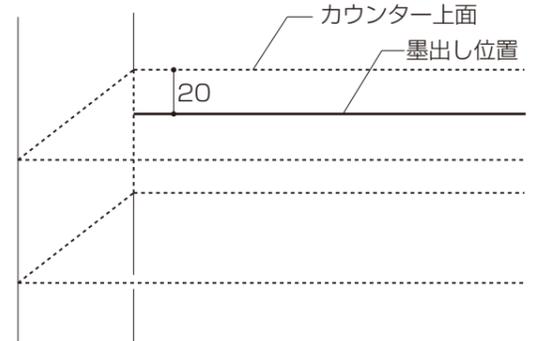


①背壁に棧木の取付け位置(棧木の上面)を墨出りする。

●40mm厚みの場合：
カウンター上面から-5mm

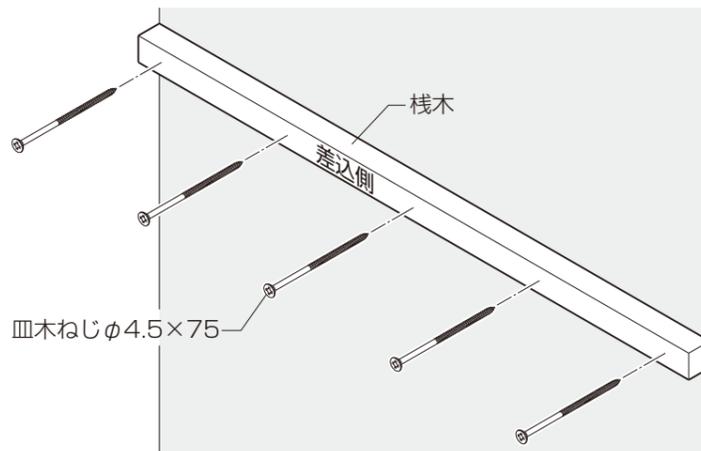


●70mm厚みの場合：
カウンター上面から-20mm

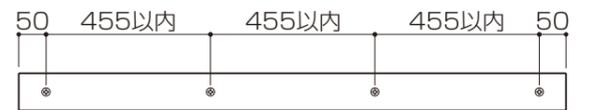


②同梱のねじ(皿木ねじφ4.5×75)で固定する。

※L1800以上の場合は、棧木を2本つなげて使用します。



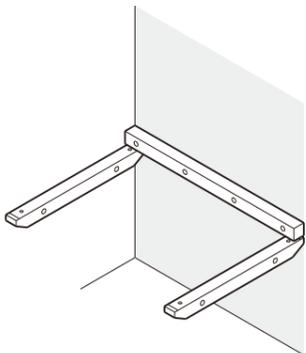
●取付けねじピッチ



●お願い

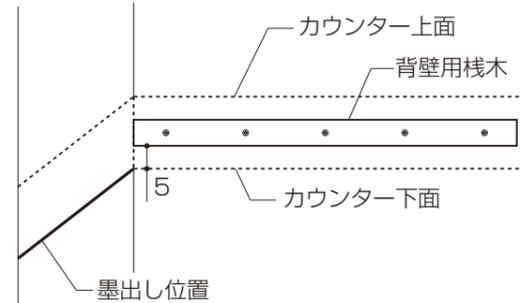
●棧木に「差込側」と印がある方を外側に向けて取付けてください。

2 端部受棧の取付け

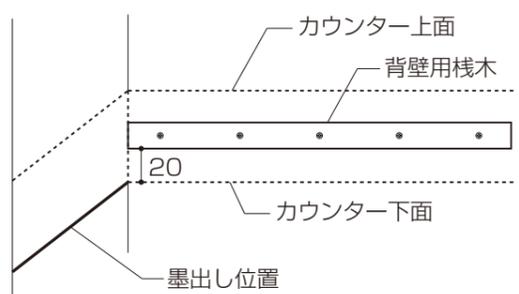


①側壁に端部受棧の取付け位置(端部受棧の上面)を墨出りする。

●40mm厚みの場合：
カウンター上面から-40mm



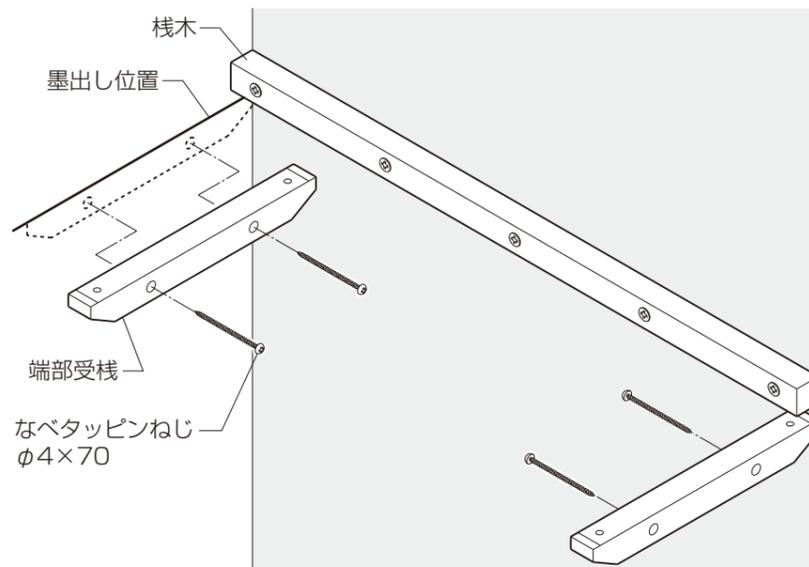
●70mm厚みの場合：
カウンター上面から-70mm



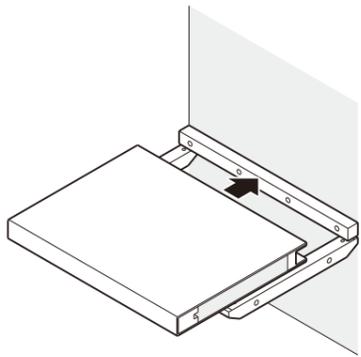
●お願い

●端部受棧の取付け位置がカウンター下面と揃うように墨出しをしてください。
位置が上にずれるとカウンターがはまらなくなります。
また、下にずれるとカウンターと端部受棧にすき間が発生します。

②同梱のねじ(なべタッピンねじφ4×70)で固定する。



3 カウンターの取付け



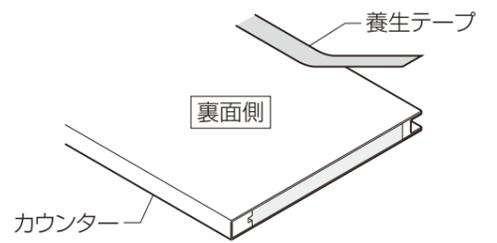
▲ 注意

- 接着剤は、床張付け用のウレタン系接着剤(現場手配)を使用してください。カウンター脱落の原因になります。(推奨接着剤: コニシ(株)ボンドKU928C-X)

※接着剤を塗る前に、カウンターが桟木にはまることを必ず確認してください※

①養生テープを一部はがす。

- 端部受棧が取付く部分(両サイド)の養生テープをはがしておきます。



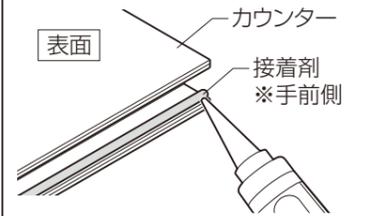
②接着剤(現場手配)を塗布し、カウンターを桟木に差込む。

※はみ出した接着剤は、ウエス等で丁寧に拭き取ってください。

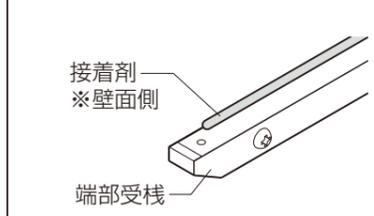
- 接着剤: 床張付け用ウレタン系接着剤

- 塗布量目安: ノズル穴径6で1列

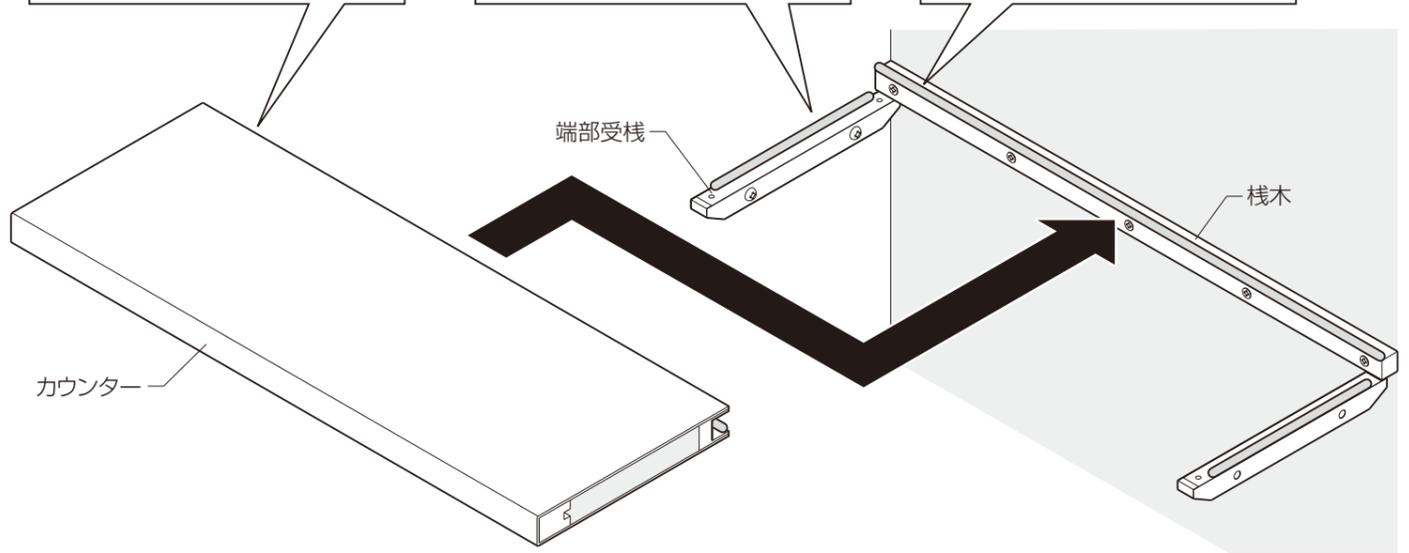
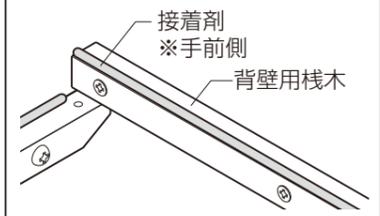
手順1. カウンター



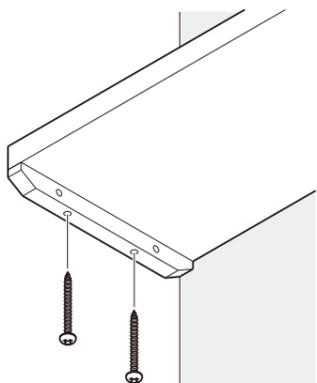
手順2. 端部受棧



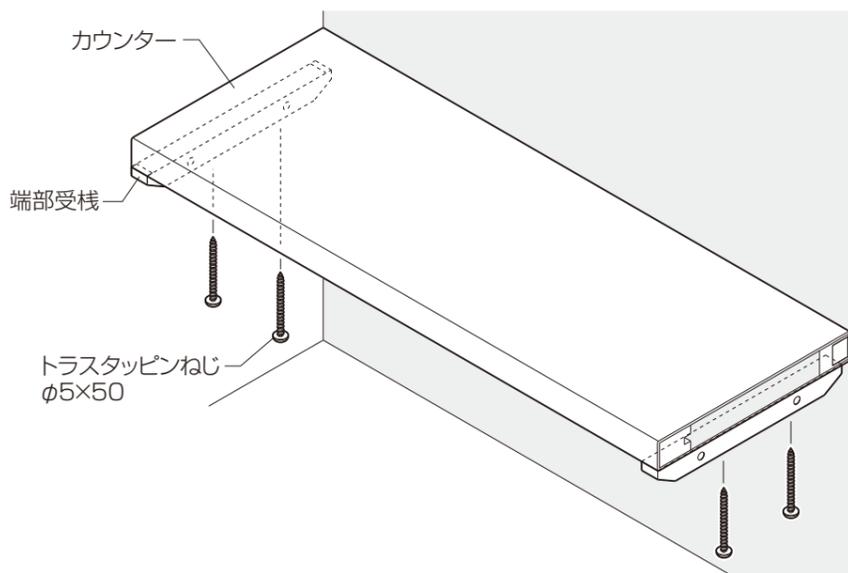
手順3. 桟木上部



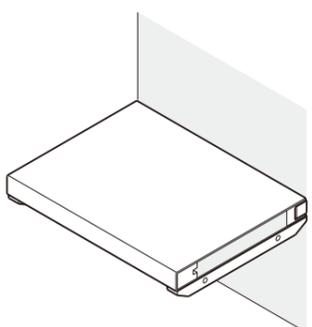
4 端部受棧の固定



①同梱のねじ(トラスタッピンねじφ5×50)で固定する。



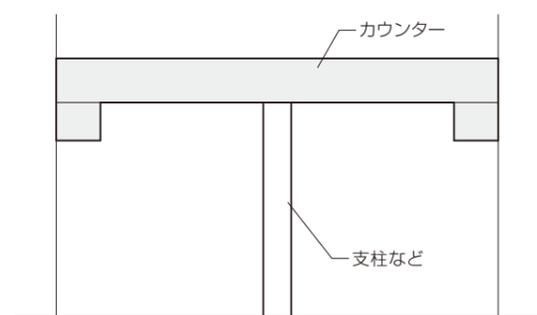
5 完成



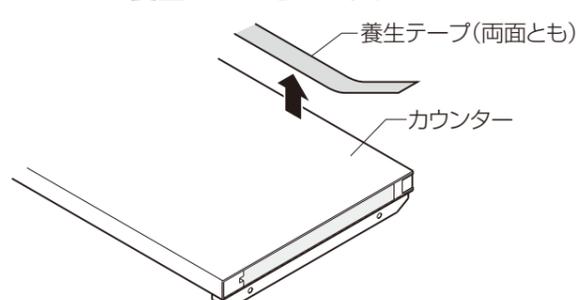
▲ 注意

- 接着剤硬化まで24時間養生を行ってください。カウンター脱落の原因になります。

①接着剤が硬化するまで支柱などで支え、カウンターの水平を保持してください。



②接着剤の硬化が確認できたら、カウンターの養生テープをはがす。

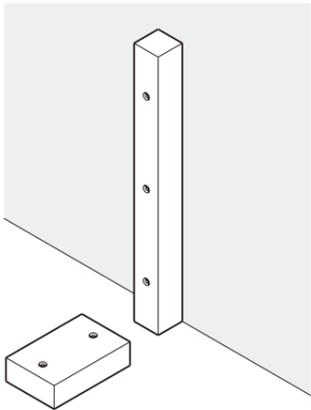


■取付け順序(脚/ベンチ納まり)

脚/ベンチ納まりのながれ

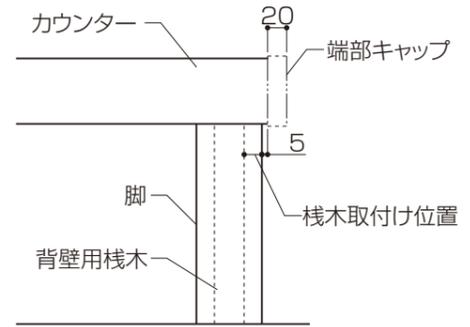
- 1 脚用棧木の取付け① → 2 脚の取付け → 3 カウンター用棧木の取付け → 4 端部受棧の取付け → 5 脚用棧木の取付け② → 6 カウンターの取付け → 7 端部受棧の固定 → 8 端部キャップの取付け → 9 完成

1 脚用棧木の取付け①



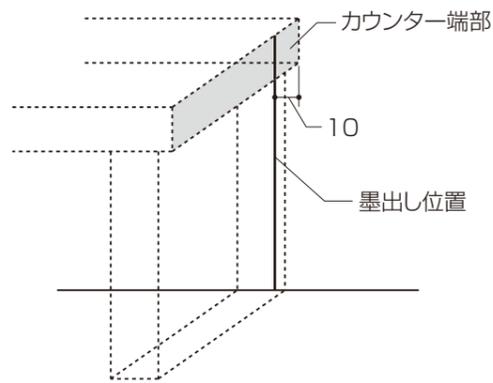
■脚/ベンチ納まりについて

カウンターの端部には端部キャップが取付きます。また、脚はカウンター端部より5mm内側に入ります。

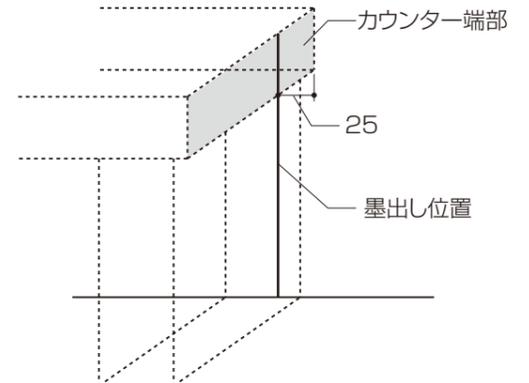


①背壁に背壁用棧木の取付け位置を墨出しする。

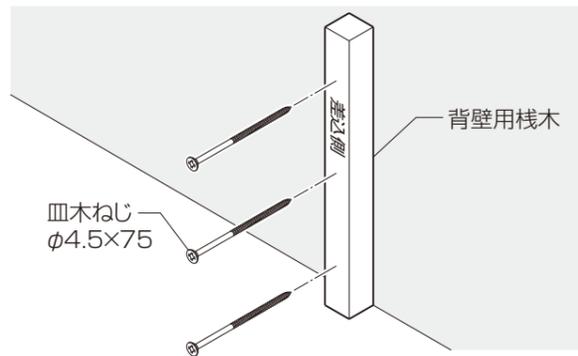
●40mm厚みの場合：
カウンター端部-10mm



●70mm厚みの場合：
カウンター端部-25mm

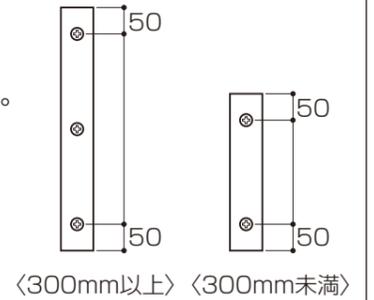


②背壁用棧木を同梱のねじ(皿木ねじφ4.5×75)で固定する。

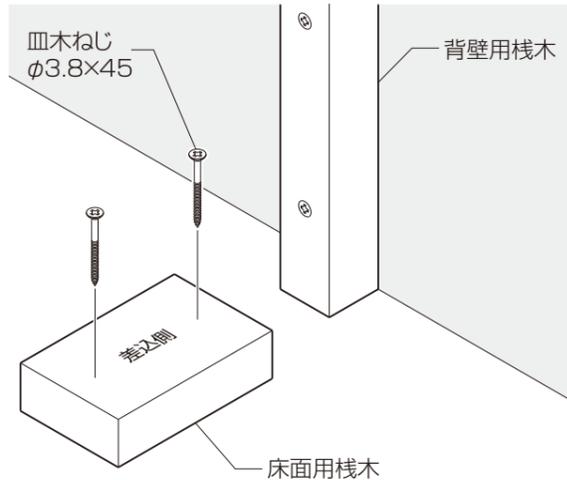


●取付けねじピッチ

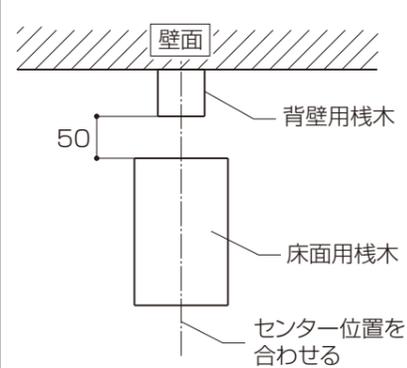
脚高さ300mm以上の場合は、3点固定してください。



③床面用棧木の取付け位置を決め、同梱のねじ(皿木ねじφ3.8×45)で床面に固定する。

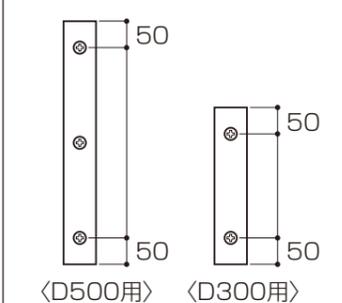


●床面用棧木取付け位置



●取付けねじピッチ

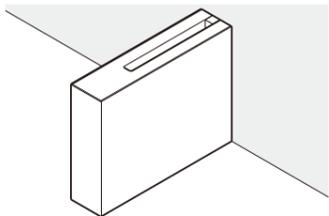
脚(D500用)の場合は、3点固定してください。



●お願い

●棧木に「差込側」と印がある方を外側に向けて取付けてください。

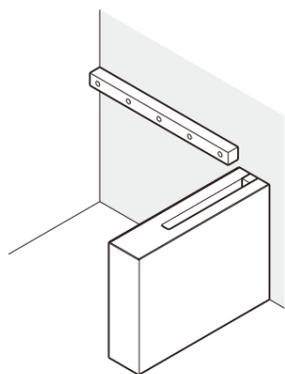
2 脚の取付け



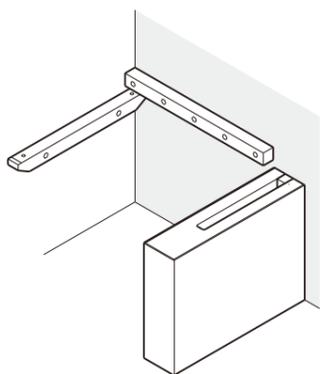
▲ 注意

- 接着剤は、床張付け用のウレタン系接着剤(現場手配)を使用してください。カウンター脱落の原因になります。(推奨接着剤：コニシ(株)ボンドKU928C-X)

3 カウンター用棧木の取付け



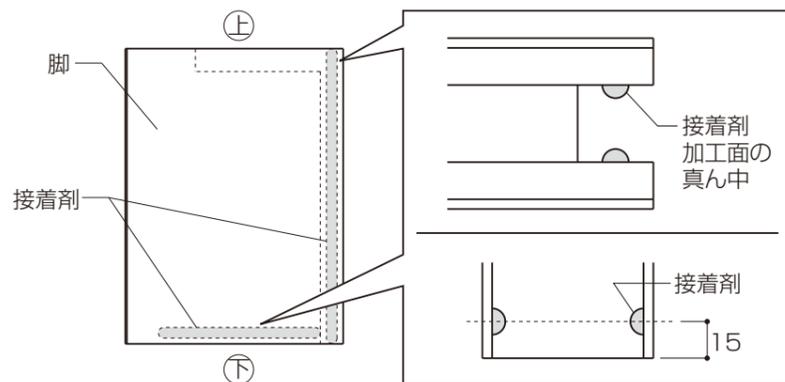
4 端部受棧の取付け



※接着剤を塗る前に、脚が棧木にはまることを必ず確認してください※

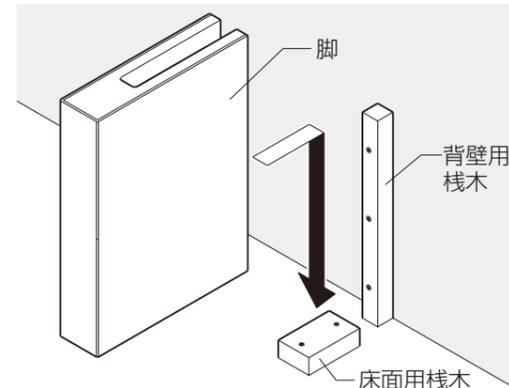
①接着剤(現場手配)を脚に塗布する。

- 接着剤：床張付け用ウレタン系接着剤
- 塗布量目安：ノズル穴径6で1列



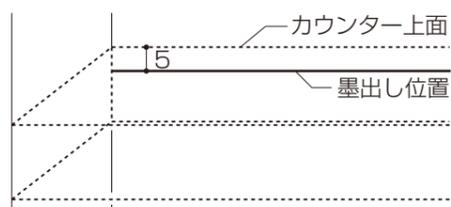
②脚を棧木に差込む。

※はみ出した接着剤は、ウエス等で丁寧に拭き取ってください。

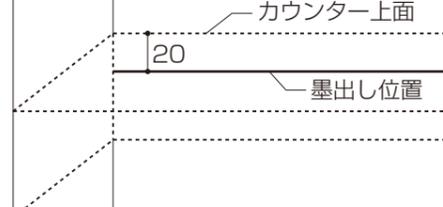


①背壁に棧木の取付け位置(棧木の上面)を墨出しする。

●40mm厚みの場合：カウンター上面から-5mm

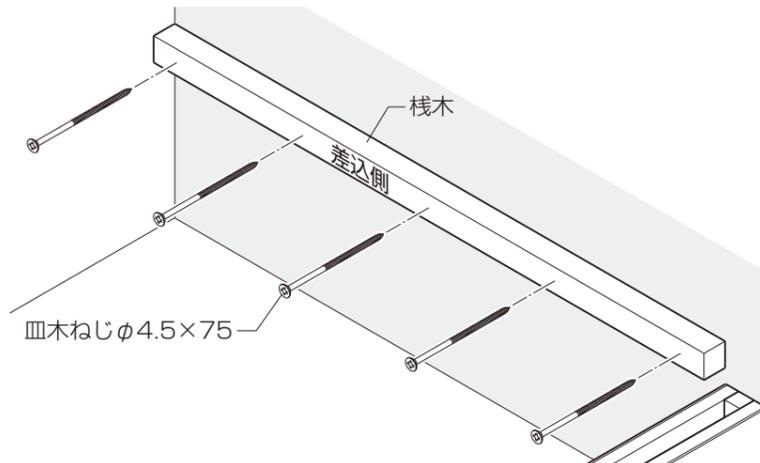


●70mm厚みの場合：カウンター上面から-20mm



②同梱のねじ(皿木ねじφ4.5×75)で固定する。

※L1800以上の場合は、棧木を2本つなげて使用します。

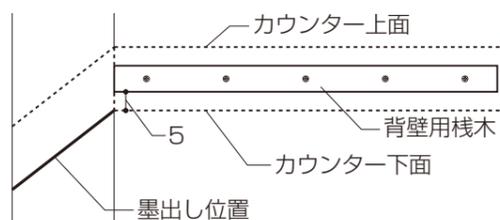


●取付けねじピッチ

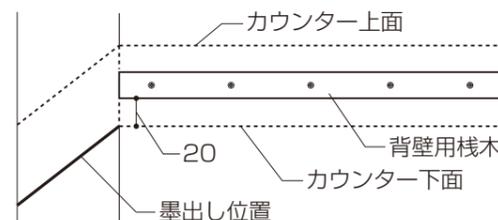


①側壁に端部受棧の取付け位置(端部受棧の上面)を墨出しする。

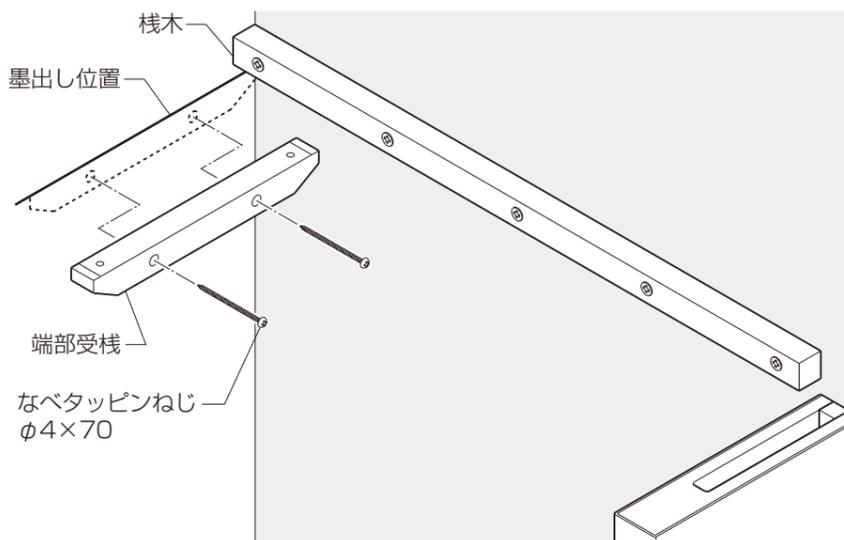
●40mm厚みの場合：カウンター上面から-40mm



●70mm厚みの場合：カウンター上面から-70mm



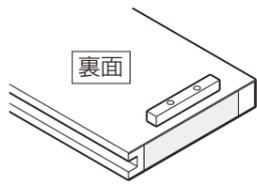
②同梱のねじ(なべタッピンねじφ4×70)で固定する。



●お願い

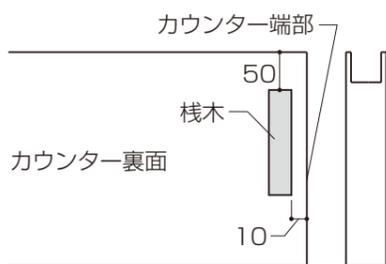
- 端部受棧の取付け位置がカウンター下面と揃うように墨出しをしてください。位置が上にずれるとカウンターがはまらなくなります。また、下にずれるとカウンターと端部受棧にすき間が発生します。

5 脚用棧木の取付け②

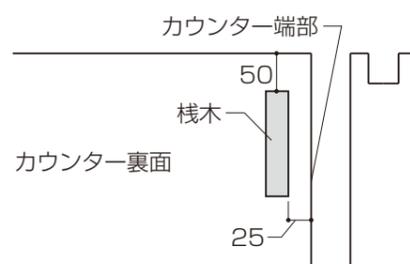


①カウンター裏面に棧木の取付け位置を決める。(脚を取付ける側のみ)

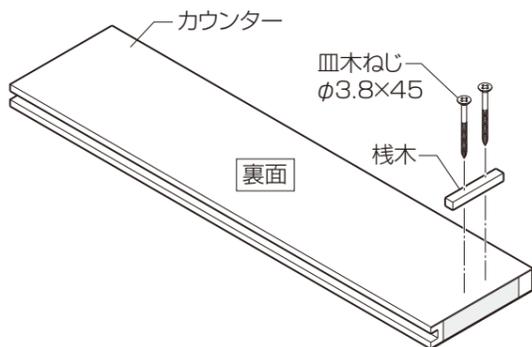
●40mm厚みの場合：
カウンター端部-10mm



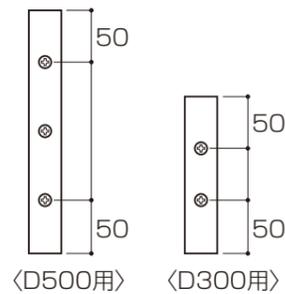
●70mm厚みの場合：
カウンター端部-25mm



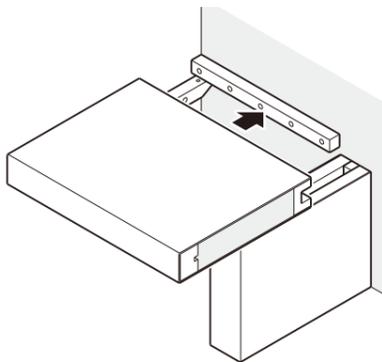
②棧木を同梱のねじ(皿木ねじφ3.8×45)で固定する。



●取付けねじピッチ
脚(D500用)の場合は、
3点固定してください。



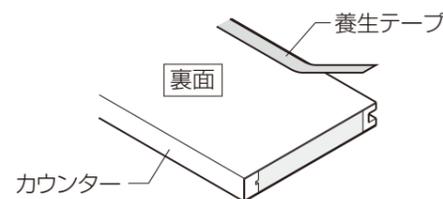
6 カウンターの取付け



※接着剤を塗る前に、カウンターが棧木にはまることを必ず確認してください※

①養生テープを一部はがす。

●端部受棧と脚が取付く部分の養生テープをはがしておきます。



②接着剤(現場手配)を塗布し、カウンターを棧木に差込む。

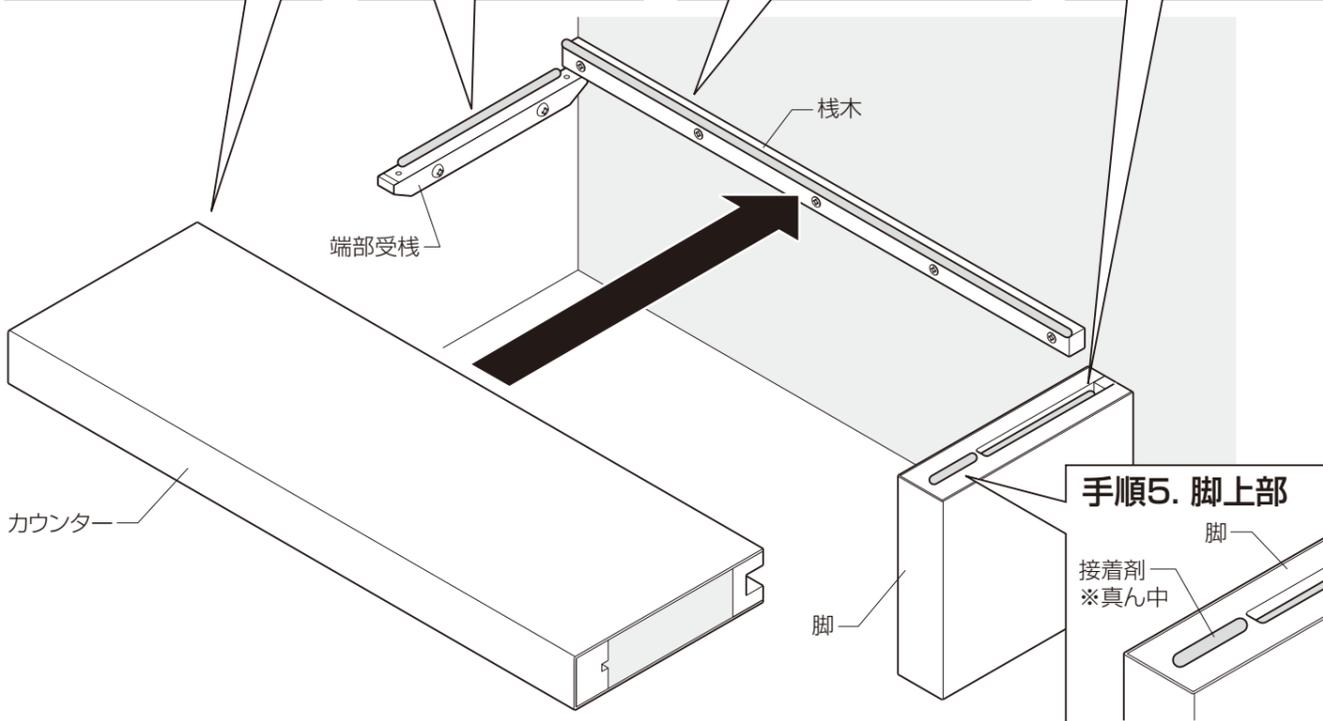
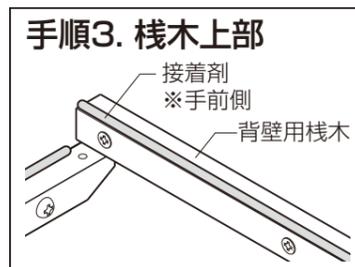
※はみ出した接着剤は、ウエス等で丁寧に拭き取ってください。

●接着剤：床張付け用ウレタン系接着剤

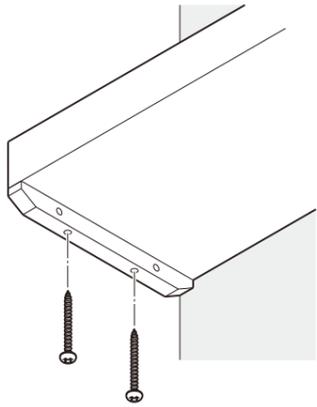
●塗布量目安：ノズル穴径6で1列

▲ 注意

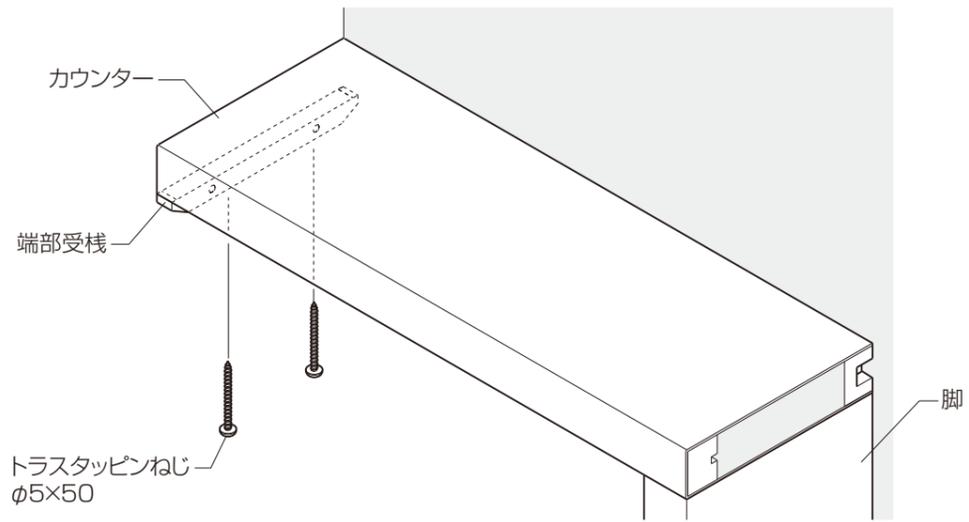
●接着剤は、床張付け用のウレタン系接着剤(現場手配)を使用してください。カウンター脱落の原因になります。(推奨接着剤：コニシ(株)ボンドKU928C-X)



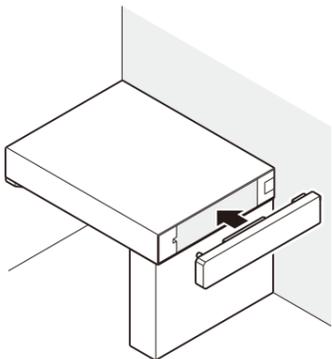
7 端部受棧の固定



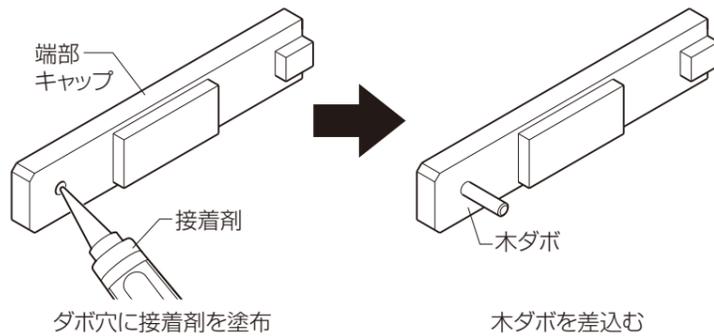
①同梱のねじ(トラスタッピンねじφ5×50)で固定する。



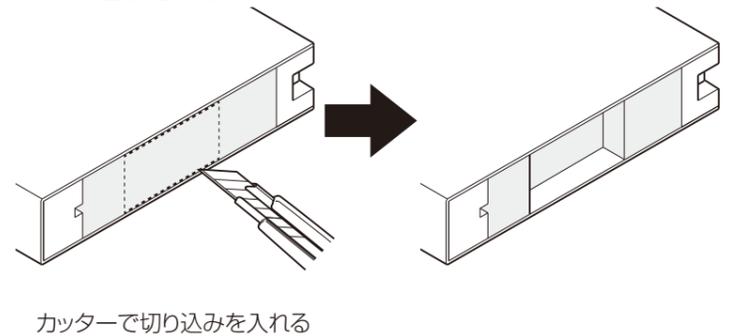
8 端部キャップの取付け



①端部キャップに同梱の木ダボを取付ける。

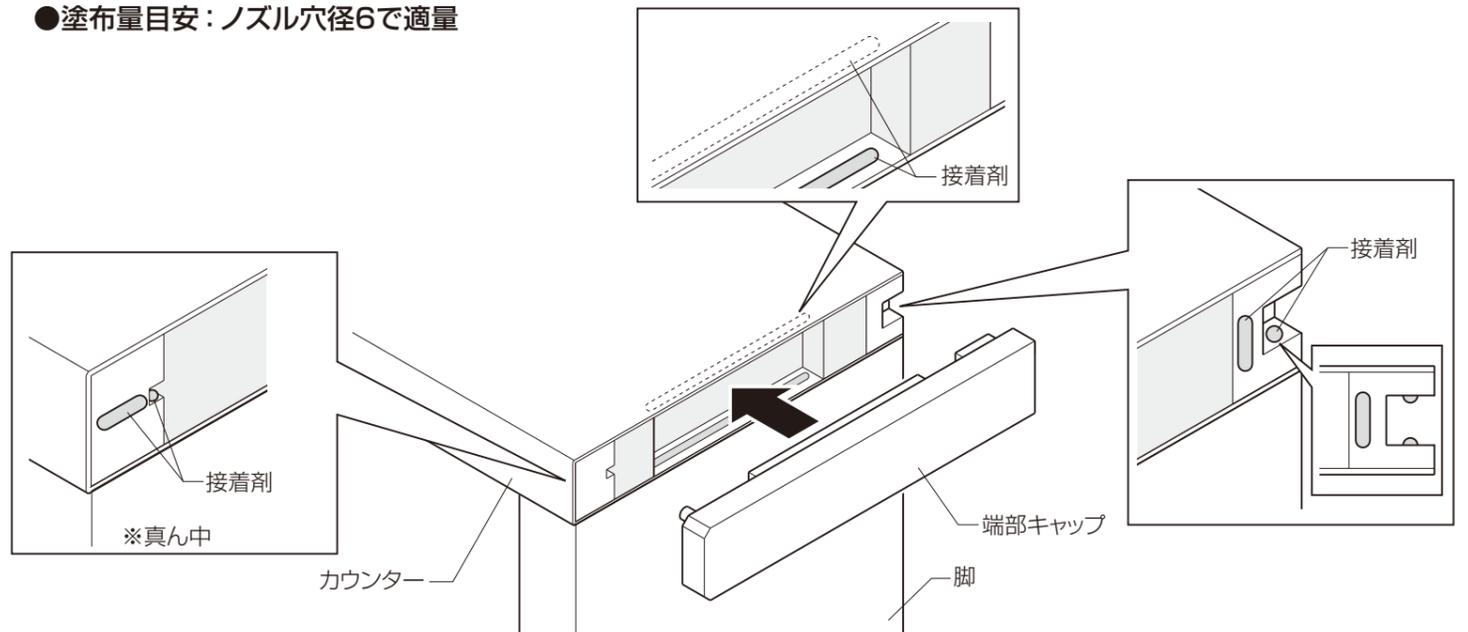


②端部キャップがはまるよう、上下に切り込みを入れ、コア材をへこませます。

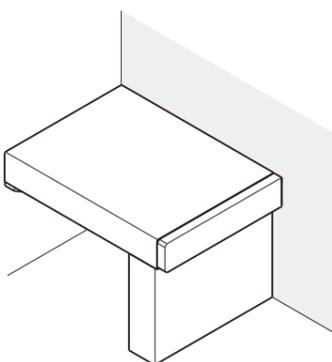


③接着剤(現場手配)をカウンターに塗布し、端部キャップを差込む。

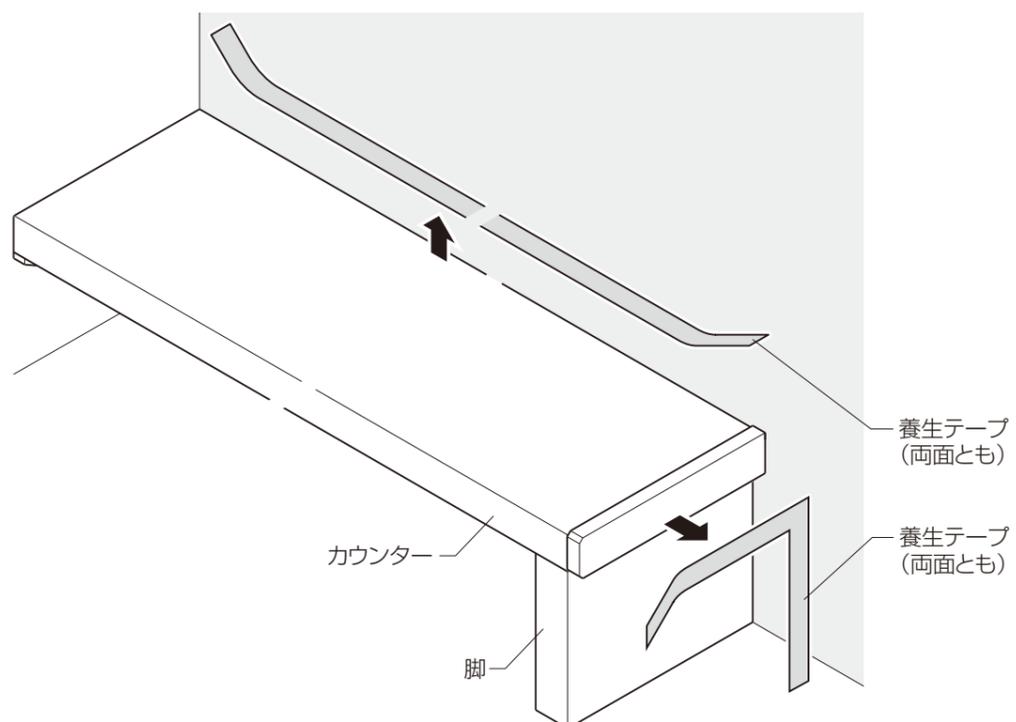
- 接着剤：床張付け用ウレタン系接着剤
- 塗布量目安：ノズル穴径6で適量



9 完成



①接着剤の硬化が確認できたら、カウンターと脚の養生テープをはがす。



▲ 注意

- 接着剤は、床張付け用のウレタン系接着剤(現場手配)を使用してください。カウンター脱落の原因になります。(推奨接着剤：コニシ(株)ボンドKU928C-X)

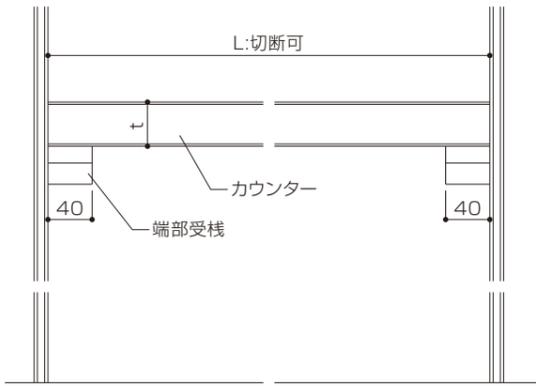
▲ 注意

- 接着剤硬化まで24時間養生を行ってください。カウンター脱落の原因になります。

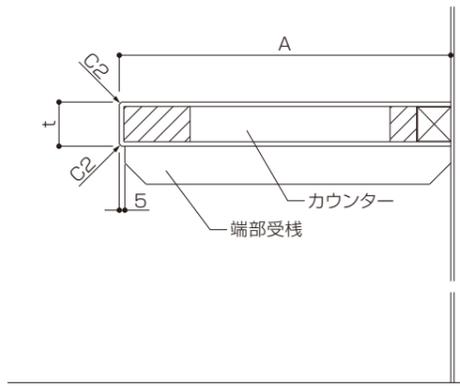
■納まり図

■受け桟納まり

正面図



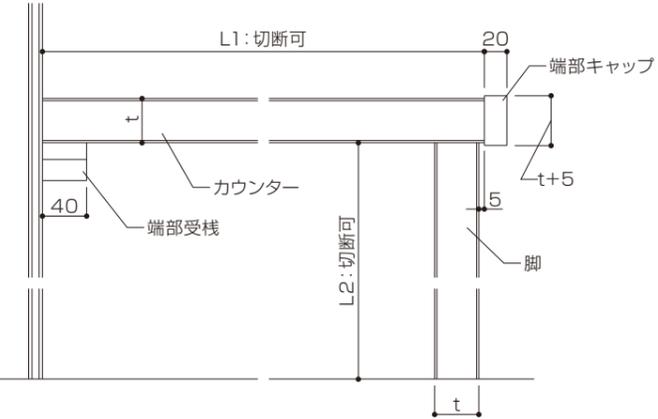
横断面図



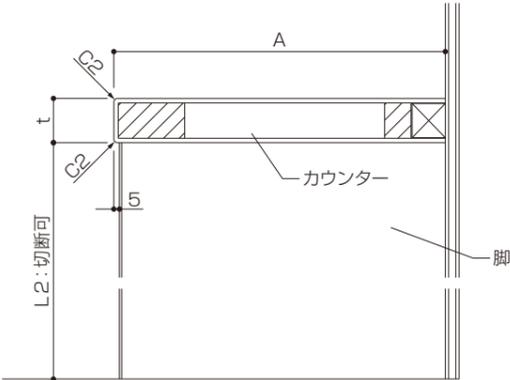
t	A	L
40	220	1800/3600
40	300	1800/3600
70	500	1800/3600

■片側オープン納まり

正面図



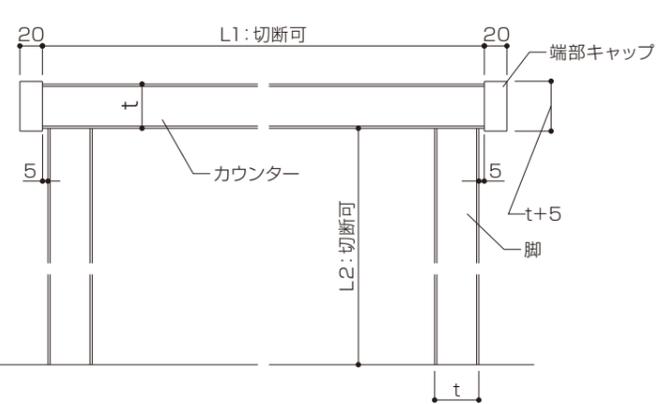
横断面図



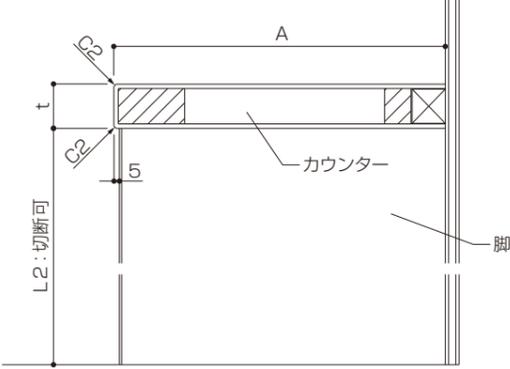
t	A	L1	L2
40	300	1800/3600	810
70	500	1800/3600	810

■両側オープン納まり

正面図



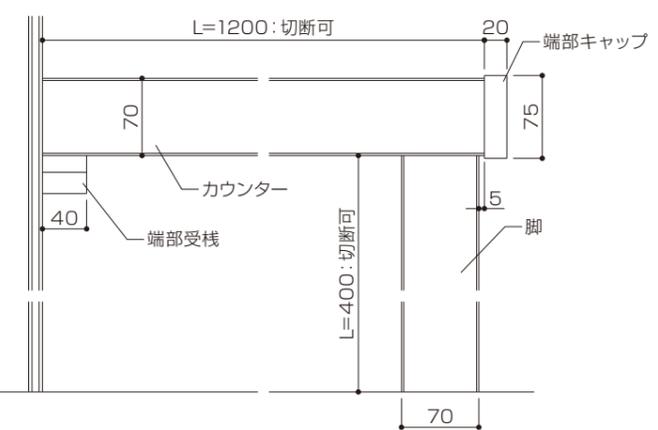
横断面図



t	A	L1	L2
40	300	1800/3600	810
70	500	1800/3600	810

■ベンチ納まり

正面図



横断面図

